

22年企業物価最高に

前年比9.7%上昇 原油・原材料高騰

日銀発表

日銀が16日発表した2022年の国内企業物価指数(速報値、20年平均100)は114.7と前年比9.7%上昇しました。ロシアのウクライナ侵攻で原油などのエネルギーや原材料

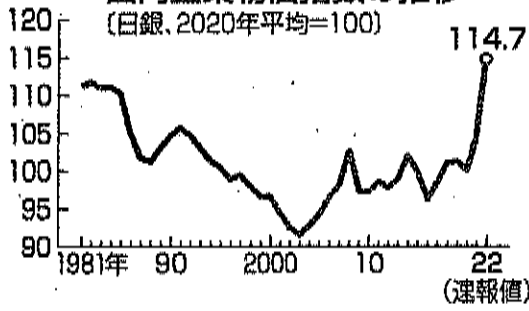
料の価格が高騰したことや、急速に進んだ円安で輸入品の価格が押し上げられました。指数の水準、伸び率ともに比較可能な1981年以降で過去最高となりました。

消費などの高騰も背景に、飲食料品は5.6%上昇しました。12月には調査対象515品目のうち454品目が上昇しました。電力・都市ガス・水道は52.3%上昇と高止まりが続いています。飼料価格高騰や鳥インフルエンザ発生で、鶏卵や鶏肉など農林水産物が6.9%上昇しました。

企業物価指数は企業間で取引されるモノの価格を示します。12月の指数は前年同月比10.2%上昇の119.5と、単月として過去最高の水準に達しました。

日銀は「22年は輸入物価上昇を主因とする川上産業での上昇が川中、川下へ転嫁された。国際商品市況の動向や為替変動、コスト上昇分の企業物価への転嫁の動きを注視していく」としています。

国内企業物価指数の推移
(日銀、2020年平均=100)



22年は資源価格の値上がりや、電力・都市ガス・水道が36.0%と大幅に上昇しました。鉄鋼は26.7%、石油・石炭製品が18.0%とそれぞれ伸びました。物

とそれぞれ伸びました。物